

パシオン通信 夏号

謎解き街歩きゲームにハマっています システム開発部 T・K

最近、謎解き街歩きゲームに参加することが多くなりました。

理由は、謎解き大好きな友人によく誘われるようになったからです。

今年に入ってから3回ほど行きました。4回目の予定ももう決まっています。

謎解き街歩きゲームというのは、あらかじめ謎解きキットを購入し、中にある指示書を元に、実際に街を歩きながら謎を解いていくというものです。

よく言われる「リアル脱出ゲーム」との違いはここにあります。

魅力1. 地域を知り、愛着を持てるようになる屋内の決められたスペースではなく、街を歩くわけですが、謎を解いていると強制的にその地域の歴史や文化に触れることができます。

例えばですが、とある謎を解いた時、次の目的地が判明したりするのですが、この時は日本遺産センター八王子博物館という施設でした。

次の謎を解くカギはこの博物館にあるので、自然と展示品に興味を持つことができます。

「こういう技術で人形が作られているのか！」や「当時はこういう地形だったのか！」とか「こういう虫がこの地域にいるのか！」などなど。

謎解きの機会が無ければ恐らく訪れなかったであろう場所で学びに繋がるのは素晴らしいですね。

(因みに、虫の標本で鳥肌が立ちました)

魅力2. 絆が深まる

今まで全て友人と参加しましたが、一段と仲が深まりました。

家族やカップル

はもちろんのこと、あまり交流が無い人同士でも楽しめると思います。

でも、1人で参加し、時間を気にせず気ままに謎解きするのもいいと思います。

魅力3. 運動不足解消になる
私は普段から毎日ウォーキングをしていますが、あまり運動出来ていない人にもお勧めです。

街を歩かなければ絶対に謎が解けない性質のため、歩かざるを得ません。

歩く気持ち良さ、謎が解けた時の気持ち良さは合わさると格別です。

以上、私が最近ハマっていることでした。社員の方ともぜひ行ってみたいですね！

それでは最後に、謎解き街歩きゲームあるあるをいくつか紹介して終わろうと思います。

- ・次の目的地が正しいか不安だったが、同じキットを持つてる人が先に何人も居て安堵する
- ・目的地に着き、隣にいた小学生グループが自分たちより先に解いてて悔しくなる
- ・で、その小学生の声のボリュームでうっすら答えがわかってしまう
- ・なので、自分が解けた時は周りに気を使って最低限のボリュームで会話する
- ・とは言え、周りの人に大声でネタバレしたらどうなるんだろう…という妄想をしてしまう



↑形がヒントの謎解き

目次

謎解き街歩きゲームにハマっています	1
引っ越ししました	2
知床の方に行ってきました	3
逃げなかったらいい経験になった話	4
新入職員紹介	5

引越しました システム開発部 M・Y

7月半ば頃に引っ越しをしました。
 なのでその事をつらつらと…

前は新築物件に住んでおり、IH、風呂トイレ別、トイレ最新、風呂最新中型浴槽付き、室内洗濯機置き場、浴室乾燥付きでライフライン周りは正直何一つ文句ない物件で駅まで徒歩12or8分の白楽と妙蓮寺の2種類選択可能で白楽は神奈川大学の最寄りなので終電でもやってるお店が多く、両方も小〜中規模の商店街とだいぶ好条件で、特にプライベートに致命的な支障も特になかったので入社してからずっと同じところに住んでいました。

ただ、物件の売り文句が学生向けで広さは1Rの15cmしかないのとお世辞にも広いとは言えず、横浜あるある(らしい)の縦長物件で専有面積を無理やり作るようとする構造でした。切土に無理やり建ててるので2階に住んでましたが、実質1階…系の物件です。

とはいえ賃貸なんて誰も何かしら不満はあってもどこか折り合い付けて住むものだと思うので「今思えば」程度ですが…この部屋4.5畳くらいのロフトが付いてまして…でも、ロフトはやめとけおじさん「ロフトはやめとけ」
 とちょっと言いたく…。「物置に出来るじゃん」「寝床にできるじゃん」ええ、わかります…。大学の頃高頻度で泊まった友達の家もロフト付きだったので良さは知ってて物置兼寝床にしてたのでいいなーって思ってたのでその体験も決め手でした。

でもやはり泊まるのと住むのは違う。
 内見当時はほぼ知識ないと当時ののんびりしてる余裕もなかったのが今思えば運命だったのと…他が良過ぎるのでそこ足し引きしたら(まあええか)となっていたのでいいのですが、これから選ぶならロフトはやめとけ。と伝えたい。
 (特別強い憧れでもないが社会人数年目の引越しでロフト選ぶ人はかなり少ないとは思いますが…)

ダメな点として、空調効かないので温度管理できません。特に夏場は死にます。サーキュレーター付けたら若干まし。でも暑い。季節によっては荷物整理で汗かきます。

(窓付きならまだ違うかも…?)

物の出し入れしんどいです。

立て掛けたハシゴ8段くらい使って登るくらいの急なタイプなものもありますが、SASUKEでもやってるのからテクニクで片手で階段と荷物を持って器用に上がってロフトに収納します。入口も特別広くないので工夫しながら入れる必要があります。(よく大事故起こさなかったなって今でも思う…)

ロフト用のハシゴ邪魔。シンプルに邪魔です。縦空間自慢の物件はどれだけ上手に荷物をテトリスして収納するかが肝なのに6畳しか無いうちのハシゴの周囲含めた約1畳に物なんて置けるわけがないので潰れます。あと生活圏にあるので定期的に梯子に当たる人がいました。※ロフトの高さにもよります

と言っても3点くらいですがこの3点が本当に影響でかく、よく使う服は結局最後は下にタンス新しく置きましたし、冬場はマシなのでたまに寝てましたが6年過ぎて多分1年もロフトのベッドで寝てたので未だに綺麗です。

(ちょっと考えればわかるか全国のロフトに憧れた純粋無垢な若者達を刺すのはNG)

ロフトは「秘密基地みたいだ！」って話もあつたりすると、うちはテレビ線も付いてたのでロフトでも小型テレビでも置いて秘密基地感覚で使えたりしたのですかね…(テレビこわれる…)

と「今思えば」の文句はありつつも、周辺は車通りもなく静かですし、神奈川大学の学生さんも静かで、正直かなり買い物の施設には恵まれてるのもあり、学生向けと言っても普通に社会人の方も住んでます。

持ち物が少ない人や、恋人や友達を家に呼ぶことが無い人にはおすすりめなのかもしれません。(正直…友達や恋人を招くには狭いので…距離近い人しか呼んだり泊まらせられなかった…)

↑同じ理由で3点ユニットバスも止めとけ(3点UBアンチ)

新居についてはいい加減6年も経ったし、自身の交友関係も何割か考えて人呼べる家に引っ越すか…と思って1年前くらい前から物件を探して5〜6月の変な時期に偶然見つけました。問題点を上げるとしたら木造の築50年とおじいちゃん物件なので上の住人の生活音や、住宅街なので車や通行人の音は気にならなくても無いですが…別に前も木造ですし全然妥協ラインで、37cmで2人入居も可能でフルリノベ済みでライフラインがほぼ前と同じだったのでその点で完全に相殺でした。

なお、2回ほどリノベしてるらしく、不動産は「前に住んでた家主のお嬢さんの急な転勤」と言っていたが…(他の部屋が窓から見えて知りましたが)多分全部和室で自分の部屋だけ内装含めてフルリノベされてたので(誰か死んでるのでは?)と今も微妙に疑ってます。因みに某有名サイトには載ってなかったです。

心理的瑕疵…信じるか信じないかは自分次第…
 …と、どうでも良い身の上話を繰り返しましたが今回は距離も数駅程度なので引っ越し業者を使わずに大物だけ最初に実家の車で運んで7月中に段階で荷物運びするので、のんびり引越ししつつ、梅雨やこれからの季節どうなるかや隣人ガチャなど、まだまだ不安はたくさんありますが頑張ります。
 自分は引越しは機会次第(かく言う自分も3年前から交友関係が増えて人の家に行く機会が多かった)だと思ってるので、これを見た長年同じ住まいな人も引越し考えてみていいかもしれません。





知床の方に行ってきました システム開発部 T・K

6/6～10の4泊5日で北海道に行ってきました。

主に知床半島(ウトロ側、羅臼側)で他にも別海町というところにある野付半島に行ったり、中標津にも行きました。

知床では2日目に、ウトロ側で知床岬に行く途中まで沖に出て戻ってくるクルーズ船に乗り。

羅臼側では3日目にシャチを見るクルーズ船に乗りました。

この日はとても運が良かったようで出航して5分くらいで、もうシャチの背びれが見え、船でかなり近くまで寄って見る事ができました。

写真のシャチが立ち上がっているように見えるのはスパイホップという行動らしいのですが、2頭が同時にスパイホップをしているところが見れました。



写真を撮るのにバランス撮るのがなかなか難しいけど気に入った写真が撮れました。

他に、ヒグマを見るクルーズも予定してたのですがうねりがあるということで欠航になってしまいました。いつかりベンジしたいです。

あと、知床五湖を見に行ったり、エゾリスやエゾシマリスを探しに行きました。

野生のエゾシマリス見たのは初めてでしたがとても小さかったのと可愛かったです。



これはかなりの激レアなことらしいです。この写真の3頭はメスと子供らしくて、船に向かって泳いで来ている写真のはオスのシャチです。時々船が揺れるので





逃げなかったらいい経験になった話 システム開発部 T・T

ある日某駅でコインロッカーの前を通りかかったところ、大荷物の外国人の方にエキスキューズミーされた。ナンパではない。どうやらコインロッカーの使い方がわからないと言っているらしい。だが私は英語を話せない。ソーリーで逃げようかとも思ったものの、それではクズすぎだな？と思っておし、とりあえずコインロッカーの使用手順を見てから考えよう（100円チャリンのタイプじゃなかったのによくわからず）。よく見たところ、どうやらロッカーの空気が無い。いやそれどうやって伝えないの、ボディラングージにも限界ってものがある。

やっぱり逃げるか・・・いや待て思い出せ、そう私にはスマホ様という文明の利器がある。早速スマホを取り出し翻訳アプリを起動する。「ここにロッカーの空気はない」と日本語で入力し、英文翻訳した画面を外人さんに突きつけた（たぶんドヤ顔して）。それを読んだ外人さん、欲しい回答だったのか空気を読んだのかかわからないが、私の言いたいことは伝わったようだ。何の解決にもなっていないがお礼を言われてこの場は終了した。



そして後刻、テンパりちらかしたやり取りを思い出して脳内会議。

- ・デカ文字で見せてさしあげろ
→スマホ全画面表示みたいな機能があったことが後で判明したので。高齢者相手なら特に。
- ・アプリで読み上げしてさしあげろ
→場所にもよるが、画面を見せるより早かったかもしれない。
- ・何に困ってるか最初にアプリで聞いて確認してさしあげろ
→運よくうまいこと返せたようだから良いものの、「これはコインロッカーです」なんて返していたらこっちがイカれた奴扱いである。前提だいじ。

そもそも焦ったからといって、なんで英語でやり取りしてんのここ日本国・・・で台無し感否めない。だがその外国人さん、お礼を「サンキュー」ではなく「アリガト」と言ったので、なんか好感度が急上昇した。簡単でも現地語が使われることは、予想以上に威力があるらしい（別に私がチョロいわけではない）。自分も海外行ったら現地語でさらりとお礼ぐらい言えるようになったらいい。だから円安いいかげん鎮まれと切に願う。

総務部 U・S



皆さま初めまして。

7月1日に入社し、総務部に配属されましたUと申します。

前職は医療系で7年半ほど勤務をし、2年前に事務職に転職いたしました。

新しいことに挑戦することが好きで、誘われたら割かしなんでも参加してきました。パラグライダー、ラフティングなどのアクティビティで体を動かしたり、リアル脱出ゲーム、謎解きといったゲームにも参加しました。中でもダイビングはライセンスを取得し、単独セブ島まで潜りに行くほどにはハマりました。結婚後は夫の影響でテニスをしたり、最近の実家の家族とラウンドデビューを目標にゴルフスクールに通っています。

まだまだ知らない事も多いですが、少しでも皆様のお役に立てるよう努力していきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

★パシオン通信も担当致しますので、皆様どうぞよろしく願い致します。



本紙はパシオン社員の親睦を目的にした社内報です。パシオンをご理解下さる関係者に限定配布しております。本趣旨にもとるご利用、お取り扱いにはご容赦いただきます様お願い致します。